

指定管理者制度導入施設 管理運営状況(令和7年度)

基本情報						
施設名称 (愛称)	近江富士花緑公園					
HPアドレス	https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/ka (建物外観等)					
電話番号	077-586-4084					
所在地	野洲市三上519					
設置目的	県民に四季を通じて花と緑に親しむことのできる場および森林を利用した保健休養の場を提供することにより、県民の緑化意識を高めるとともに、豊かな心の醸成および健康の増進を図る。					
所 管	部局	琵琶湖環境部				
	課等	森林政策課				
設置年月		平成4年4月				
土 地	敷地面積	522,185㎡	避難所指定等	—		
	市街化区域	—	防災拠点指定等	—		
	用途地域	—	文化財指定	—		
建 物	延床面積	2,389.44㎡	再生エネルギー等	薪ストーブ		
	取得価額	639,747,610円	自家発電設備	—		
運 営	運営方法	指定管理	バリアフリー	障害者用エレベーター	無	
	運営時間	9:00～17:00		多目的トイレ	有	
	休館日	毎週月曜日、年末年始ほか		オストメイト対応トイレ	無	
駐車台数		211台		車いす使用者用駐車場	4台	
特記事項 指定管理者: 近江富士 楽えんパートナーズ						
施設概要						
名 称	主体構造	設置年	延床面積	階 数	耐 震	備 考
ふるさと館ゴミ集積所	木造	H4.4	3.96㎡	1	新耐震	
ふるさと館倉庫棟	木造	H5.4	12.15㎡	1	新耐震	
ふるさと館(木造部分)	木造	H3.4	691.00㎡	2	新耐震	
ふるさと館(非木造)	鉄筋コンクリート造	H3.4	121.10㎡	1	新耐震	
ウッドイルーム	木造	S61.4	160.00㎡	1	新耐震	
ウッドキャッスル	木造	H3.4	3.75㎡	1	新耐震	
バス待待合所	木造	H5.4	4.32㎡	1	新耐震	
レストログハウス	木造	H1.4	99.80㎡	1	新耐震	
ロッジ(6棟)	木造	H4.4	177.82㎡	1	新耐震	
上水道ポンプ所	鉄筋コンクリート造	H4.4	41.18㎡	1	新耐震	
八角あずまや	木造	H15.4	45.37㎡	1	新耐震	
創造の森 あずまや	木造	H8.4	25.00㎡	1	新耐震	
創造の森 公衆便所	木造	H8.4	24.57㎡	1	新耐震	
森林のわくわく学習館	鉄筋コンクリート造	S48.4	506.25㎡	1	新耐震	H18耐震工事
植物園ゴミ集積所	木造	H4.4	3.96㎡	1	新耐震	
植物園ゾーン倉庫	木造	H2.4	50.26㎡	1	新耐震	
植物園公衆便所	木造	H4.4	33.08㎡	1	新耐震	
疎林広場公衆便所	木造	H4.4	30.66㎡	1	新耐震	
花の回廊公衆便所	木造	H6.4	28.16㎡	1	新耐震	
花の回廊四阿	木造	H6.4	9.00㎡	1	新耐震	
苗圃倉庫	鉄筋コンクリート造	S45.4	37.55㎡	1	新耐震	
地下水ポンプ室	コンクリートブロック造	S49.1	10.70㎡	1	新耐震	
里の家	木造	H5.4	188.41㎡	1	新耐震	
野鳥観察小屋	木造	S62.4	25.00㎡	1	新耐震	
21世紀の森公衆便所	木造	S63.4	13.25㎡	1	新耐震	
21世紀の森四阿	木造	H1.4	44.88㎡	1	新耐震	
LPG倉庫	鉄筋コンクリート造	H3.4	8.96㎡	1	新耐震	

指定管理者管理運営状況（令和4年度～令和7年度）						
指定管理者管理運営状況						
年度	指定管理者			指定管理期間		
R7年度	近江富士 楽えんパートナーズ			令和6年4月1日から令和11年3月31日まで		
R6年度						
R5年度	近江富士花緑公園ゆうゆうパートナーズ			平成31年4月1日から令和6年3月31日まで		
R4年度						
成果情報		R4	R5	R6	R7	備考
利用可能日数(単位:日)		313	313	312	318	
年間利用人数(単位:人)		319,647	279,885	215,755	288,789	R5～R6はリニューアル工事に伴う減
1日あたり利用人数(単位:人/日)		1,021.2	894.2	691.5	908.1	
年間収入(単位:円)		60,831,998	62,065,076	57,882,963	62,501,377	
1日あたり収入(単位:円/日)		194,351	198,291	185,522	196,545	
収入・支出実績 (単位:円)		R4	R5	R6	R7	備考
収入①		60,831,998	62,065,076	57,882,963	62,501,377	
施設利用収入		9,021,558	10,670,712	7,485,963	11,108,255	
指定管理料		50,534,000	50,531,000	50,397,000	51,283,400	
その他収入		1,276,440	863,364	0	109,722	
支出②		59,283,784	60,481,376	58,248,656	62,561,619	
人件費		30,439,313	30,611,804	30,599,390	34,282,727	
施設管理費		6,228,738	8,005,267	6,325,059	5,780,554	
事業費		22,615,733	21,864,305	21,324,207	22,498,338	
収支 ①-②		1,548,214	1,583,700	-365,693	-60,242	
モニタリング実施状況(令和7年度)						
報告書の別	内 容					
年度報告	年次事業報告書(令和8年4月報告)					
月例報告	月例業務報告書(毎月報告)					
実地調査	令和7年10月、令和8年2月 実施					
実地調査等の概要	【令和7年10月】 指定管理者モニタリングマニュアルに基づき、実地調査を実施。大きな改善指示事項は見当たらなかった。 【令和8年2月】 指定管理者モニタリングマニュアルに基づき、実地調査を実施。危険木の処理や劣化施設の修繕、立ち入り禁止を指示。 【その他】 年次事業報告書、月例業務報告書により、管理業務が適正に実施されていることを確認した。					
利用者ニーズの把握						
手法・実施時期	アンケート調査・令和7年度通年					
実施内容	宿泊休憩利用者へのアンケート調査					
調査結果	・アンケート調査の結果、施設を利用した総合的な満足度の項目では、無回答を除くほとんどの回答者が、「満足」または「やや満足」と回答しており、利用者は概ね満足しているデータとなった。 【アンケートの主な声】 ・スタッフの対応が素晴らしく、居心地よかった。 ・自然がいっぱいで、心安らぐ休養ができた。 ・サウナや自分でテントを張ってキャンプができるスペースがあるとよい。					
工夫・成果のあった点、運営上の課題						
・開園から30年以上が経過し、各施設の老朽化が進んでいるが、定期的なモニタリングや施設点検および計画的な修繕等を実施し、サービスの維持向上に努めている。 ・自主事業では、自然観察などの従来の体験イベントに加え、ツリーイングやクラベルクリテリウムなど、特色ある事業を展開することで集客アップに努めている。 ・令和元年度からは、森林環境学習「やまのこ」受入施設として、年間約2,000人の小学生に対して、間伐体験などの学習プログラムを実施しており、森林環境学習の拠点としての役割を担っている。 ・令和6年度の遊具広場の改修や令和7年度の木育施設「しがモック」の開設により、来園者が大幅に増え、豊かな自然に触れ合う場となっている。一方、来園者の増加により、駐車場の不足が課題となっている。						